



不撓不屈

宜野湾市立 普天間 中学校
 平成30年度学校だより 第9号
 ～平凡を非凡に努め不撓不屈の精神で励む普中生～
 平成31年1月15日発行 校長 又吉直正

□新年を迎え、気持ちを新たに学校経営に邁進いたします。

保護者・地域の皆様、新年明けましておめでとうございます。皆様におきましては、御健勝にて輝かしい平成31年の初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃から、本校教育活動に対する暖かいご理解とご支援に対し心から感謝を申し上げます。

昨年の4月より本校第24代校長として学校運営を担わせていただいておりますが、これからも地域・保護者の皆様の期待に応えるべく、決意を新たに、本校の教育信念である「平凡を非凡に努め、不撓不屈の精神で何ごとにも挑戦し自己実現に向かう生徒」にむけて、誠心誠意努力する覚悟であります。

今年が普天間中学校の生徒・保護者・地域の皆様にとりまして、幸多き飛躍の年となります様、お祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

□次年度の学校経営ビジョンについて

これからの社会はより変化の激しい、行き先不透明な状況を迎えると言われていますが、これからの学校教育においては、どの子にもグローバル化する知識基盤社会を「生き抜く力」を授ける営みが求められています。本校では、その生き抜く力を「資質・能力」として明確に具現化を行い、学校の全教育活動(学校行事、授業等)を通して育成していきたいと考えています。その育成すべき「資質・能力」としては「協働する力」「創造する力」「自律する力」の三つを基本柱として整理していきたいと考えています。そこで、これまで教育目標として据えていた「思いやりの心を持ち、他者を尊重する生徒」「学ぶ意欲に充ち、自己の伸長を図る生徒」「心身ともに健康で、たくましい生徒」の3つの目標についてはこれからの時代を生きる資質・能力につなぐ普天間中の「生徒像」として位置づけ、教育目標については以下に示す表現に変え、これまで主流であった「知育」「徳育」「体育」の意義も含みつつ、「生き抜く力(資質・能力)」というものをより明確に打ち出していこうと考えています。

(普天間中学校の学校教育目標)

★「平凡を非凡に努め、不撓不屈の精神で何ごとにも挑戦し、自己実現に向かう生徒」

◆プレハブ校舎で普中生は頑張っています！

昨年の12月21日(水)にプレハブ校舎への引越作業をPTA・生徒・職員で行い、そして新年を迎え1月7日(月)の始業式からプレハブ校舎での本格的な教育活動を開始しています。

生徒は計画された行動をしっかりとこなし、新しい学級に自分の机と椅子を運び新しい環境に興奮をしている様子でした。特にプレハブ校舎ではトイレの異臭が全くなく、天井や壁、床など汚れやくすみもなく清潔な環境のため生徒は満足そうな様子でした。勿論、プレハブ校舎なのでそれなりに課題もあります。例えば、「音もれ」の問題があります。学級同士が廊下を挟んで隣合わせなので授業の音や声が聞こえてきたり、雨音がスゴイこと、日がさすと暑くなりやすいことなどです。いろいろ課題はありますが、子ども達と創意工夫をしながら楽しく、前向きに捉え乗り切っていこうと思っています。



◆第2回フードドライブへのご協力に感謝！

本校ボランティア委員会は昨年の12月19日(水)三者面談や授業参観日等、保護者が学校に来校する機会を活用し、取り組んだ「フードドライブ」の成果(飲食料等100点以上)を宜野湾市社会福祉協議会に贈りました。今年度2回目の活動実績になります。社会福祉協議会の担当から「5年目をむかえる同取組が困っている人々への支援として役立っている」との説明を聞き、ボランティア委員の皆さんも自分達の活動を改めて誇らしく感じたようでした。



◆1月の主な学校行事

- 1月16日(水) → 思春期講演会(1年)
- 1月22日(火) → 講話朝会
- 1月23日(水) → 三者面談①※三年のみ
- 1月24日(木) → 三者面談②※三年のみ
- 1月25日(金) → 最終面談①※三年のみ
- 1月28日(月) → 三者面談③最終面談②
- 1月29日(火) → 最終面談③※三年のみ

◆1月の生活目標

- 気持ちを新たに自分を見つめ
進級・進路の目標を立てよう！

◆1月の健康目標

- 風邪の予防に努めよう！

※インフルエンザにかからないよう注意しましょう！